

めぐみイエス・キリスト教会

2018年2月25日(日) 第四聖日礼拝
週報「通算第394号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

27:22 「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。

27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、

27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈祷会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年2月25日(第四聖日礼拝)
午前10時～11時

司会 鈴木 ますみ さん 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈り】

【賛美Ⅰ】 新聖歌89「神は独り子を」 p. 122

【交読文】 No.45 詩篇第146篇 p. 915

【賛美Ⅱ】 新聖歌321「浮き世の風と」 p. 510

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.15「だから元気を出しなさい」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書13章34節～35節(新約p. 190)

【祈 禱】

【説 教】 《新しい戒めとは?》 鈴木 竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌198「God Bless you」 p. 294

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所(ヨハネの福音書13章34節～35節)

13:34 「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

13:35 もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたが私の弟子であることを、すべての人が認めるのです。」

●ポイント1 「古い戒め」とは？

※マルコの福音書12章28節～31節「主イエス様の教え」(新約p.85上段)

12:28 律法学者がひとり来て、その議論を聞いていたが、イエスがみごとに答えられたのを知って、イエスに尋ねた。「すべての命令の中で、どれが一番大切ですか。」

12:29 イエスは答えられた。「一番大切なのはこれです。『イスラエルよ。聞け。われらの神である主は、唯一の主である。』

12:30 心を尽くし、思いを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』

12:31 次にはこれです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』この二つより大事な命令は、ほかにありません。」

※レビ記19章18節「神様がモーセに授けた言葉から」(旧約p.188下段)

19:18 復讐してはならない。あなたの国の人々を恨んではならない。あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい。私は主である。

●ポイント2 「私があなたがたを愛したように」とは？

※ヨハネの福音書13章1節～5節「聖餐式制定の前に」(新約p.189上段)

13:1 さて、過越の祭りの前に、この世を去って父のみもとに行くべき自分の時が来たことを知られたので、世にいる自分のものを愛されたイエスは、その愛を残るところなく示された。

13:2 夕食の間のことであった。悪魔はすでにシモンの子イスカリオテ・ユダの心に、イエスを売ろうとする思いを入れていたが、

13:3 イエスは、父が万物を自分の手に渡されたことと、ご自分が父から来て父に行くことを知られ、

13:4 夕食の席から立ち上がって、上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。

13:5 それから、たらいに水を入れ、弟子たちの足を洗って、腰にまっておられる手ぬぐいで、ふき始められた。

●ポイント3 「新しい戒め」とは？

※第 I ヨハネ4章7節～21節「使徒ヨハネの勧めから」(新約p.430下段)

◎先週のメッセージの概要【今しばらくの間は、あなたがたと一緒に】

《「子供たちよ。私は今しばらくの間、あなたがたと一緒にいます。あなたがたは私を捜すでしょう。そして、『私が行く所へは、あなたがたは来ることができない。』と、ユダヤ人たちに言ったように、今はあなたがたにも言うのです。」と言われたイエス様のお言葉は、預言であり、また深い意味を持っています。

最後の過越の祭となるこの時から、半年以上前の仮庵の祭りに、内密にエルサレムに上って来られた時に、イエス様はユダヤ人たちに言われました。

「まだしばらくの間、私はあなたがたと一緒にいて、それから、私を遣わした方のもとに行きます。あなたがたは私を捜すが、見つからないでしょう。また、私がいる所に、あなたがたは来ることができません。」

ユダヤ人とは、パリサイ人や律法学者たちのことです。彼らは、イエス様の数度による悔い改めと救いの機会を与えられていたにも関わらず、信じない人々でした。残されたあと半年ばかり、彼らに教えることを言われたのです。

また「あなたがたは私を捜すが見つからないでしょう。」とは、イエス様が復活された後、議会がイエス様の遺体を捜すことを預言しています。そして「私がいる所に、あなたがたは来ることができません。」と言うことは、イエス様を信じなければ、誰も天の御国に入れなことを、言われているのです。

また弟子たちに言われたことは、ユダヤ人に言われたこととは、少し異なる意味を持っています。まず「今しばらくの間、あなたがたと一緒にいます。」とは、数時間後ゲッセマネにおいて捕らえられる間までのことだけではなく、よみがえられた後、一緒におられる40日間のことを指しています。

そして「あなたがたは私を捜すでしょう。」とは、ガリラヤに行くように言われた弟子たちが、ガリラヤでイエス様を捜すことを預言しています。また「私が行く所へは、あなたがたは来ることができない。」と言うことは、イエス様が、よみに降られることを意味しています。イエス様を信じる者は、天の御国に行くのです。よみではありません。なぜならイエス様が行って下さったからです。》

◎お知らせ

1. 次回の礼拝は、3月4日(日)午前10時から行ないます。また次回聖書研究会・祈祷会は、2月28日(水)午後6時15分から、行ないます。
2. 鈴木師は、2月26日(月)ITCN午後集会においてメッセージを担当します。鈴木ますみさんの薬疹と、ピロリ菌完全除去の為に、お祈りを願います。